報道関係各位
NEWS RELEASE【書籍のご案内】

2026年11月13日
あさ出版

髙橋 洋一 氏 日本語版監修！ ドイツの専門家が10年以上追究した「数字の罠」



なぜ、人は数字にダマされるのか？

2026年
11月25日
発売

～「なるほど！」と鵜呑みにする前に知っておきたい統計学的思考～

株式会社あさ出版（代表取締役：田賀井弘毅、所在地：東京都豊島区）は、ヴァルター・クレーマー、ゲルト・ギゲレンツァー、トーマス・バウアー、カタリナ・シュラー 著、髙橋洋一 日本語版監修『なぜ、人は数字にダマされるのか？ ～「なるほど！」と鵜呑みにする前に知っておきたい統計学的思考～』を2026年11月25日（水）に発売いたします。

数字はウソをつかない。だが、見せ方には「罠」がある

「ジョギングをすると長生きする」「乳がんを75%の確率で発見できるという検査」――数字で示されると、思わず「なるほど」と納得してしまいます。しかし、その結論は本当に正しいのでしょうか。

実は、多くのケースでは「原因」と「結果」が取り違えられていたり、別の要因が見落とされていたり、一部のデータだけが都合よく切り取られていたりします。つまり、数字そのものが正しくても、そこから導かれる結論まで正しいとは限らないのです。

本書は、**統計学者、心理学者、経済学者、データ分析の専門家が、ドイツで2012年から続けてきた啓発プロジェクト「今月の疑似（ウソ）統計」をもとにした一冊**です。

健康、教育、経済、環境、感染症など、身近なテーマを取り上げ、相関関係と因果関係の混同、平均値や割合の落とし穴、グラフの見せ方、リスクの伝え方など、「数字の罠」を豊富な実例から解き明かします。楽しみながら「数字を読む力」を身につけられる知的エンターテインメントです。

日本語版は、元大蔵・財務官僚であり、**統計や経済政策、データ分析にも深い知見を持つ経済学者の髙橋洋一氏が監修**を務めます。

スイス発の書籍要約サービス「getAbstract」が選ぶ2023年 Business Impact Award受賞。

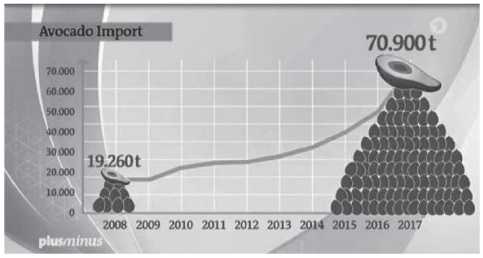
以下本書より事例を一部抜粋要約

「数字の罠」事例：3.7倍の増加が、約14倍に見える？

グラフによるさまざまな印象操作の中には、数値を棒グラフではなく、その数値が表すもののイラストに置き換える「絵グラフ」を使用した方法があります。

例えば、ドイツ公共放送が放映したアボカドの輸入量の絵グラフでは、2008年から2017年にかけて輸入量が1万9,260トンから7万900トンへと約3.7倍に増加した様子が描かれました。

アボカドの輸入（ドイツ公共放送ARD、2018年4月11日）



しかし、イラストの高さだけでなく横幅まで比例して拡大されたため、視覚的な面積としては実に約14倍もの大きさに見えてしまいます。脳は無意識のうちに全体や面積を捉えてしまうため、数値の増加が実態以上に強調され、見る者に誤った印象を与えてしまう視覚的錯覚が生じるのです。

タイトル：なぜ、人は数字にダマされるのか？

～「なるほど！」と鵜呑みにする前に知っておきたい統計学的思考～

著者：ヴァルター・クレーマー、ゲルト・ギゲレンツァー、トーマス・バウアー、
カタリナ・シュラー

訳者：渡辺玲　　**日本語版監修：**髙橋洋一

ページ数：336ページ　　**価格：**2,970円（税込）

奥付発行日：2026年11月28日　**ISBN：**978-4-86667-828-3

※価格は発売時点の予定価格です。変更となる場合があります。



【目次】

第1部　データで考える
1章　なぜ統計学的思考が重要なのか
2章　因果関係と相関関係はどう違うのか
3章　数字のトレンドやアンケートは信用できるのか
4章　正しい数字が、正しい結論を導くとは限らない
5章　データは何を見せ、何を隠すのか

第2部　ニュースの数字はどこまで信用できるのか
6章　寿命を延ばす方法
7章　寿命を縮める方法
8章　AIの予測はどこまで信用できるのか
9章　予測がいつも外れる理由

第3部　思い込みにダマされないために
10章　基準値はなぜ客観的ではないのか
11章　誤った希望を抱かせるがん検診
12章　数字が生み出す不必要な不安
13章　よりよく生きるための選択

展望：数字オンチを乗り越える

【著者プロフィール】

Thomas Bauer（トーマス・バウアー）
経済学者。ボーフム大学教授（実証経済研究）。ライプニッツ経済研究所副所長。

Gerd Gigerenzer（ゲルト・ギゲレンツァー）
心理学者。ポツダム大学ハーディング・リスク・リテラシー・センター所長。マックス・プランク人間発達研究所（ベルリン）名誉会長。執筆者としてもベストセラーを多数生み出す。

Walter Krämer（ヴァルター・クレーマー）
統計学者。ドルトムント工科大学名誉教授（経済・社会統計学）。著作にベストセラー多数。

Katharina Schüller（カタリナ・シュラー）
統計とデータサイエンスのコンサルティング会社STAT-UPの創立者及びCEO。応用分析、ビッグデータ、及び人工知能を専門とする。

【訳者プロフィール】

渡辺玲（わたなべ・れい）
成城大学卒業後、ベルリン自由大学哲学・人文学部に学び、マギスター（修士号）を取得。卒業後は公的機関や科学研究所に勤務し、文化・学術分野で幅広い経験を積む。現在はドイツ在住のフリーランス翻訳者として、主にドイツ語からの翻訳に長年携わる。翻訳協力：オフィス宮崎

【日本語版監修者プロフィール】

髙橋洋一（たかはし・よういち）
数量経済学者
1955年東京都生まれ。都立小石川高校（現・都立小石川中等教育学校）を経て、東京大学理学部数学科・経済学部経済学科卒業。博士（政策研究）。1980年に大蔵省（現・財務省）入省。大蔵省理財局資金企画室長、プリンストン大学客員研究員、内閣府参事官（経済財政諮問会議特命室）、総務大臣補佐官、内閣参事官（総理補佐官補）等を歴任。2008年退官。菅政権では内閣官房参与もつとめ、現在、嘉悦大学経営経済学部教授、株式会社政策工房代表取締役会長。『【図解】統計学超入門』『【図解】新・経済学入門』『財務省亡国論』（いずれも、あさ出版）など、ベスト・ロングセラー多数。2026年9月現在、YouTube『髙橋洋一チャンネル』登録者数145万人。Xフォロワー数79.4万人。

書評・著者インタビュー等のご検討をいただければ幸いです。情報掲載、画像提供の問い合わせ
古垣（フルガキ）TEL：03-3983-3225　090-4424-6911　furugaki@asa21.com
株式会社あさ出版　東京都豊島区南池袋2-9-9 第一池袋ホワイトビル6階